

◆◇◆長月◆◇◆

■今日から9月。

私はいまだに「9月1日は二学期始業式」という感覚が強く残っていて、これがなかなか更新されません。困ったものです。

さて、「長月」とは9月の異名。何が「長い」のでしょうか。

その由来を調べてみると次のように説明されていました。

- ▼長月は「ながつき」と読み、その由来、語源にはいくつかの説があるといわれています。
- ▼もっとも有力だとされている説は「夜長月（よながつき）」と呼ばれていたものが短くなり「長月」に転じたというものです。
秋分を過ぎて日が短くなり、夜がだんだんと長くなっていく様子を表したものです。
- ▼ほかにも「稻刈月（いねかりづき）」が「ねかづき」となり「ながつき」に転じたという説、「稻熟月（いねあがりづき）」が転じたという説、稲が長く成長する月という意味の「穂長月（ほながづき）」が略されたという説などがあります。

なるほど、なるほど。

また、「長月」のほかにも9月には次のような名前があるようです。

長雨月（ながめつき）	寢覚月（ねざめづき）	
菊月（きくづき）	菊咲月（きくさづき）	菊開月（きくさきづき）
彩月（いろどりづき）	詠月（えいげつ）	建戌月（けんじゅつづき）
青女月（せいじょづき）	竹酔月（ちくすいづき）	紅葉月（もみじづき）

なるほど、というものもあれば、なぜ？なに？というものもあります。

そしていずれも、言葉と季節、自然やくらしがしっかり結び付いていることを改めて感じます。

私たちの美しい言葉、豊かな言葉。子どもたちに伝え、受け継いでいきたいですね。